






()鼠径ヘルニア根治術入院計画表

様

経過	外来	入院日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	2日目～退院
目標	手術の準備ができ、手術前後の変化が分かる。		看護師と相談しながら手術の準備ができる。	遠慮なく苦痛を訴えることができる。手術後の状況が理解され、安静が守られる。	行動の拡大の必要性を理解し、取り組むことができる。	退院に向けた生活ができる。
食事	制限はありません。	21時以降、食べ物を食べれません。	午前 時以降、水も飲めません。	看護師が麻酔から覚めたこと、お腹の動きを確認後、水分がとれます。食事は医師の指示のもと当日夕または翌朝から開始になります。		
安静度	制限はありません。			ベッド上安静です。 	最初は看護師と一緒に歩きます。 	
排泄			手術室に行く前に、排尿を済ませておきます。	手術中に尿を出すための管が入ります。	朝に尿を出すための管を抜きます。抜いた後、痛みや尿が出にくいことがあれば看護師にお伝えください。	
清潔		臍の処置をした後に、シャワーに入ることができます。			からだを拭きます 	シャワーに入ることができます。
点滴・薬	入院日に現在内服されている薬と薬の内容が明記された用紙またはお薬手帳を忘れずにお持ちください。今まで飲んでいた薬は医師の指示に従い内服してください。	今まで飲んでいた薬があれば、医師の指示に従ってください。	午前中に点滴を開始します。	抗生剤の点滴が夜にあります。痛みが強い時は、痛み止めを使用しますので、お知らせください。	水分が開始となったら、持参の内服薬が再開します。(血をサラサラにする薬を飲んでいての方は医師の指示がでてから) 	
検査・治療		不足している検査がある場合には、血液・尿・レントゲン・心電図・呼吸機能・CTなどの検査をすることがあります。入院中は、血圧・体温・脈拍の測定を適宜行います。 	血圧、体温、脈拍測定を行います。	酸素吸入、血圧・体温・脈拍測定を行います。場合によっては、心電図モニターを装着することがあります。		医師の許可があり次第、退院できます。 
説明・指導	外科医から手術、麻酔科医から、麻酔の説明があり、それぞれ同意書にサインをいただきます。入院の際に、連絡先や今までの病気などをお渡しした用紙にご記入の上、ご持参ください。	T字帯を1枚準備して下さい。(1階の売店で購入できます。)タバコは手術後の痰を多くしますので、一時的にやめましょう。担当看護師より手術の説明があります。	歯磨きを行い、点滴をする前に手術衣に着替えます。家族の方は、病室またはラウンジでお待ちください。	深部肺静脈塞栓予のストッキングを履いています。床ずれ予防のため、体の向きを変えましょう。	手術後は傷の痛みがあります。特に体を動かした際に痛みが強くなります。手術後3日までが辛いと思いますが少しずつ楽になってくるかと思えます。痛みどめも使用できますので、いつでもお知らせください。退院後に痛み不安がある際には、痛みどめを処方することができます。	
その他		よりよい入院生活のため、今までの生活についてお話をお聞きます。	時分に手術室へ行きます。 		傷口にはダーマボンドという保護材がついています。自然にはがれるものなので剥がさないようにしましょう。	次回受診の説明があります。鎮痛剤の処方を希望される方はお伝えください。診断書、証明書が必要な方は外来に提出して下さい。